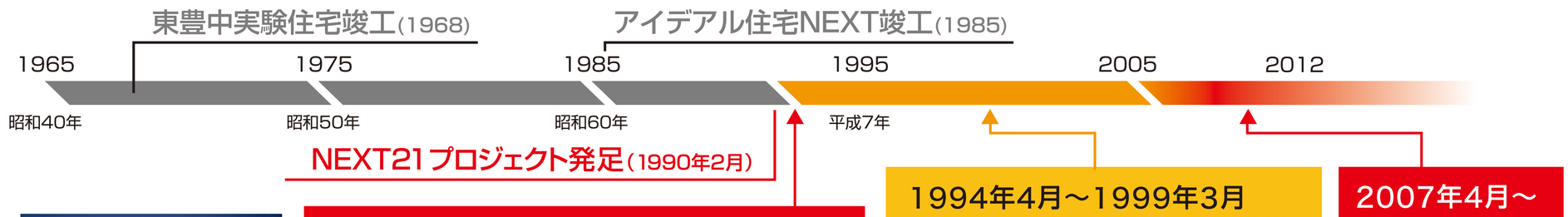
大阪ガス実験集合住宅 NEXT21

「実験集合住宅NEXT21」の概要

持続可能な都市居住を支える住まい、エネルギーシステムのあるべき姿を探求し、検証するために、大阪ガスが大阪市内に建築した実験集合住宅。実験住宅としては3棟目で、現在第3フェーズの実験中。

概要・年譜

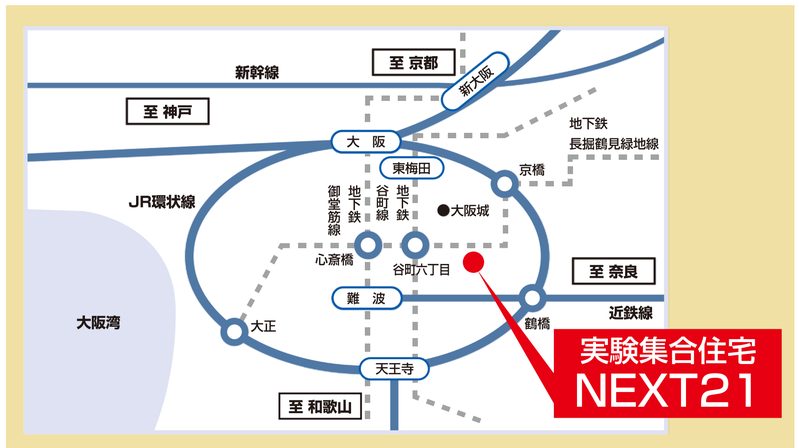


東豊中実験住宅

アイデアル住宅NEXT

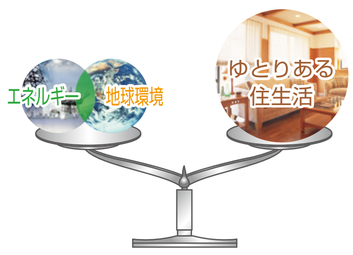
実験集合住宅 NEXT21 竣工

- ●竣　　工　1993年10月
- ●所 在 地　大阪市天王寺区清水谷町6-16
- ●敷地面積　1,543m²
- ●延床面積　4,577m²
- ●階　　数　地上6階、地下1階
- ●住戸規模　18戸（32m²～166m²、平均115m²）

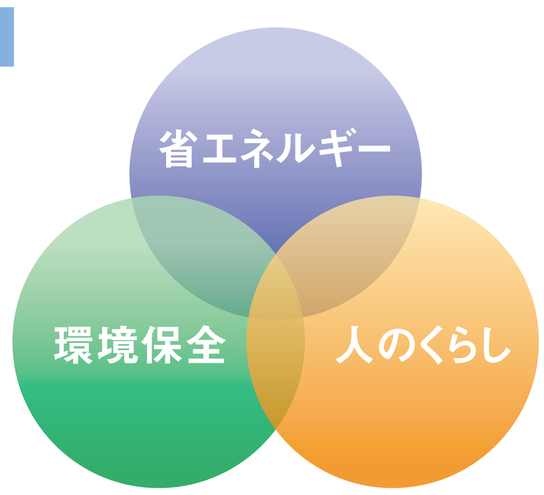


居住実験コンセプトと主なテーマ

第1フェーズ（1994年～1999年）

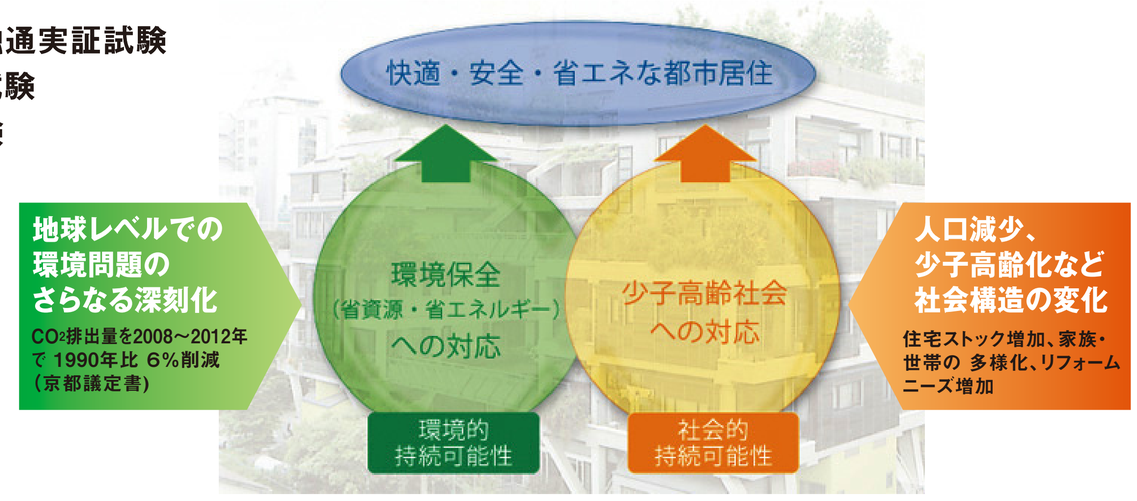


- ・燃料電池
- ・太陽電池
- ・生ゴミ廃棄物処理
- ・24 時間換気空調
- ・躯体住戸分離方式
- ・住棟緑化
- ・内装の可変性



第2フェーズ（2000年～2005年）

- ・住棟コージェネ
- ・戸別コージェネ
- ・生ゴミ廃棄物処理
- ・エネルギー情報サービス
- ・住民による緑地管理
- ・ホームオフィス居住実験（UR都市機構との共同）

第3フェーズ（2007年~2012年）

- ・水素燃料電池コージェネレーションシステムによる電力融通実証試験
- ・マンションにおける電力、熱融通制御システムの実証試験
- ・隣組コージェネレーションシステムによる熱融通実証試験
- ・ガスのあるくらし提案
- ・少子高齢時代と住まい
- ・「ファクター4の家」省エネ実験
- ・地域コミュニティ・デザイン実験（U-CoRo）